



# 射手 吉永昊志朗



10月16日、四十九所神社にて「高山流鏑馬」が行われました。  
日本における流鏑馬の起源は、永年元年（1096年）に始まるとされ、「高山流鏑馬」  
900年以上の歴史を誇る伝統行事です。  
元は国家安泰、五穀豊穰、悪疫退散を祈願する年占いで、現代でもこの願いが込め  
られています。  
狩衣装束にあやい笠を身にまとい、弓受けの儀により神の使いとなった射手は、  
神馬とともに約330mの馬場を駆け抜けながら、合計9本の矢を射ます。  
全国的に成人の射手が多い流鏑馬ですが、高山流鏑馬は、毎年その年の中学2年生  
が射手を務めます。  
今年の射手は、高山中学校2年生の吉永昊志朗君。後射手は昨年射手の国見中学校  
3年生の松元結希君が務めました。  
二人の若き射手が、たくさんの人々の期待と願いを一身に受け、馬場を駆け抜けま  
した。



# 後射手 松元結希